

すこやか

安心したい

エンジョイ!

医とケア

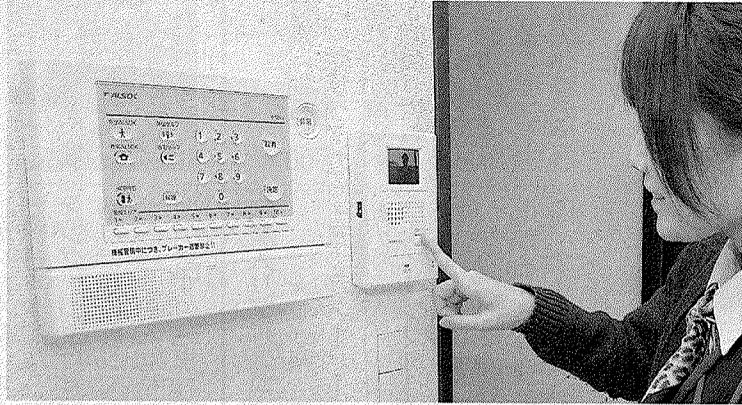
ちゅうごくライフ

# 住宅防犯ひと工夫

## 賃貸警備会社と提携

住まいの防犯に心配はありませんか。春になって新しいマンションやアパートで暮らし始めた新社会人や学生、住み慣れているとはいえ、戸建て住宅で暮らす高齢者世帯や一人暮らしの人たち。それぞれにどんな防犯の工夫があるのか探ってみました。

- 防犯に効果的な建物や主な工夫
  - ・道路など周囲からの見通しが良い
  - ・防犯カメラやライト、歩く音のする玉砂利
  - ・二重ロックやドアチェーンが付いた扉
  - ・扉を開けると音がする
  - ・録画機能付きテレビドアホン
  - ・防犯フィルムを貼った窓
- ※岡山県戸建て住宅防犯診断チェックリストから



窓の開閉などを感じるセンサーの起動や解除をするコントロール。右はモニター付きインターホン=いずれも岡山市



上部にあるセンサーは窓の開閉によって空き巣などの侵入を感知する。鍵も二重ロックで防犯性が高い

モニター付きインターホン

賃貸大手「レオパレス21」によると、女性の入居者の2分の1、男性の3分の1が賃貸住宅を探るときにセキュリティを重視しているという。同社は、2011年6月から大手警備会社と業務提携し、全国の賃貸アパートやマンションにセキュリティサービスを導入した。

賃貸アパート1階の1室を見学すると、玄関ドアの横にモニター付きインターホン。室内は一見、普通のワンルームだが、1階の窓は割れにくい防犯ガラスを使っている。ガラス破壊による侵入を防ぐためだ。

この建物にはなかったが、アパートの敷地の出入り口の門をオートロックにしている物件もある。案内役の西日本第2営業部副部長の横山雅志さん(36)は「ただし、他の住人がロックを解除したときに一緒に入り込む危険があるので気をつけて」と話す。

明生警部(42)によると、古い昔ながらの家の方が診断結果が厳しくなりやすい。新しい家の方が二重ロックだったり、防犯性の高い鍵が使われたりしている。風呂場や台所の窓に侵入防止の格子があることも多い。杉田さんは「古い家でもあきらめず、守る意識を持つ」と呼びかける。

## 戸建て 守る意識を

戸建て住宅の防犯については、2012年度、岡山県警や大学、防犯機器販売会社などのチームが「戸建て住宅防犯診断チェックリスト」表を作成している。

このリストに照らし、2013年6月と11月に県内16軒の住宅の防犯診断をしたところ、100点満点で40〜79点と差があった。診断にかかわった県警生活安全企画課長補佐の杉田

野さん(42)によると、古い昔ながらの家の方が診断結果が厳しくなりやすい。新しい家の方が二重ロックだったり、防犯性の高い鍵が使われたりしている。風呂場や台所の窓に侵入防止の格子があることも多い。杉田さんは「古い家でもあきらめず、守る意識を持つ」と呼びかける。

近所付き合いを大切にすることも防犯につながる。泥棒が犯行をあきらめる理由は「声をかけられる」が多いという。知らない人が家の周りを歩いたら声をかけるくらい、日頃から近所付き合いを密にしていれば犯罪が起きにくくなるという。

## ロック増やして センサーライト

比較的手頃な防犯対策として、総合防犯設備士の資格をもつ防犯システム設計・施工専門会社「セキュリティハウス」(岡山市)の小野真司社長(58)は、人が通れば明かりがつく「センサーライト」の取り付けやドアに鍵を増やして「ツーロック」「スリーロック」にすることを勧める。

「防犯は外周から」と小

(長崎縁子)

野さん(42)によると、古い昔ながらの家の方が診断結果が厳しくなりやすい。新しい家の方が二重ロックだったり、防犯性の高い鍵が使われたりしている。風呂場や台所の窓に侵入防止の格子があることも多い。杉田さんは「古い家でもあきらめず、守る意識を持つ」と呼びかける。

近所付き合いを大切にすることも防犯につながる。泥棒が犯行をあきらめる理由は「声をかけられる」が多いという。知らない人が家の周りを歩いたら声をかけるくらい、日頃から近所付き合いを密にしていれば犯罪が起きにくくなるという。

記者より



レオパレスの物件に備わっている警備会社のセキュリティサービスは、基本的には空き巣やストーカー、火災防止の対策だ。しかし、オプションで、救急通報や居住者の動きによる安全確認のサービスをつければ、高齢者の見守りに応用できる。親が独り暮らしになるときには利用を検討したい。(長崎)